

大阪府立交野支援学校 第2回学校協議会 報告

日時	平成26年12月11日(木) 10時から12時		場所	四條畷校会議室
出席者	協議会委員	職名等		
	金見 幸夫	元大阪府立学校長		
	八尾 康典	交野自立センター所長		
	大河内 孝子	交野市森地区区長		
	小西 均	四條畷市砂地区区長・砂自治会長		
	藤田 洋子	大阪府立交野支援学校 PTA 会長		
	鳥越 真弓	大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長		
	学校事務局	校務分掌等	学校事務局	校務分掌等
	高塚 良則	校長	丹羽 はるか	本校首席
	井上 昌二	准校長	鈴木 亮彦	四條畷校首席
	松尾 光雄	本校教頭	植木 敏幸	四條畷校首席
	藤野 洋子	本校教頭	長尾 潤	四條畷校中学部主事
	南 佐和則	四條畷校教頭		
	島田 敬三	事務長		
テーマ	●本年度の学校経営計画の進捗について			
	① 「学校経営計画」進捗について 《交野支援学校》 1 安全安心な学校づくり ・大災害時の対応マニュアルが完成し、保護者に周知。 ・防災について、地域の関係機関（自治会・市役所）との話し合いの実施。 ・備蓄食料の3日分確保。 2 専門性向上の取り組み ・初任者9名全員の研究授業を実施。 ・外部人材活用10回実施。今後も積極的に実施していく。 ・自立活動の専門性向上のため、巡回指導として2名の教員を自立活動専任教員としてしている。学部を超えて指導している。 3 キャリア教育の推進 ・公開研修会（130名参加）を行った。 4 センターの機能の充実 ・地域支援を9月末で52回実施（巡回相談、研修講師、来校相談）した。 《交野支援学校四條畷校》 1 安全安心な学校づくり ・「災害時用情報調査票」は作成済みである。 2 授業力及び専門性の向上 ・初任者や2・3年目の教員も研究授業や研究協議等に取り組んでいる。 3 社会的自立への支援の充実 ・企業への巡回指導約50回、訪問は約40回実施。 4 校内支援・校外支援の充実 ・ケース会議では支援部が中心となり実施している。 ・地域巡回では、経験の少ない教諭が同行して行っている。			

	② 「学校教育自己診断」について 《交野支援学校》 保護者の回答から、教職員の専門性を高めることや保護者との情報をより共有化する必要性がみられた。教職員の回答からは、校内外の研修を通じて、より専門性を向上していく必要性がみられた。 《交野支援学校四條畷校》 保護者の回答からは、教職員の専門性の向上と環境整備についての意見が多く見られた。教職員の回答からは、災害時の対応マニュアルの周知徹底の必要性がみられた。
	③ 「授業アンケート」について 《交野支援学校、交野支援学校四條畷校》 アンケート結果については、職員会議で公表し周知した。否定的な回答があった項目について、改善できるところは、早急に対応していきたい。
	④ 委員会からの意見 【災害時の対応について】 ・対応マニュアルについては、指揮命令系統が曖昧になることがあるので、全教職員が理解することが必要である。そのためには、学年や学部で意見交換を行いながら作成していくことが必要である。 ・個々の情報の活用については、個人情報保護の点から難しいところはあるが、命と安全を守る上からも必要である。 ・来年秋に交野支援学校四條畷校の近くに大型ショッピングセンターが開店するが、災害時には協力してくれるとの意見を頂いている。 【アンケートについて】 ・質問項目については、回答が難しい項目がある。 ・意見については、懇談等で直接述べている保護者が多いと思う。 ・保護者と教員との意見交換が必要である。教員は評価されるのを嫌う傾向がある。いかに評価してもらうか、それができれば、魅力ある教員になることができるのではないかと。 ・アンケートの結果に専門性の向上の項目がある。教師という仕事に携わる上で、自分に足りないことを真摯に受け止めスキルアップすることが必要である。また、そうすることがプロだと思う。 【キャリア教育について】 ・卒業後も地域（様々な活動場所）と学校との関係が途切れることなく継続して連携していきたい。そのために、情報が共有できることを願っている。「個別の教育支援計画」が細切れにならないようにしてもらいたい。 【その他】 ・支援学校の教員の採用については、専門性が問われるので、支援学校を希望している教員を配置してほしい。